

第57回 中国・四国地区 広島県高等学校PTA連合会大会岡山大会

平成27年7月10日(金)
岡山市民会館
参加人数 約1800人

「つなごう子育て 結ぼう手と手」～晴れの国からもんげー夢を～



第57回 中国・四国地区広島県高等学校PTA連合会大会岡山大会に本校からは田中教頭と副会長2名が参加させていただきました。



全国高等学校PTA連合会会長 佐野元彦氏(右写真)子どもたちを取り巻く急激な環境の変化に、PTAは協力して対応していくべきと提言されました。



<講演> 「私の歩んだ道」～見えないから見えたもの～ 岡山県立岡山盲学校講師 竹内昌彦氏

赤ん坊のころ高熱の影響で右目の視力を失い、小学校2年生時網膜剥離で全盲になってしまった自らの生い立ちから、ユーモアを交えながらも、障がい者への人権理解やいじめの苦しみ、命の大切さなどを訴える、会場全体が感動あふれる講演でした。

歩行者道路の点字ブロックは岡山が発祥地とのこと。視覚障害の白い杖を持った人を見かけたら、「自分に何かお手伝いできることはありますか?」と声をかけてほしい。介助する時は左写真のように右腕をつかまらせて案内してください。

竹内先生の講演内容から心に残った言葉を抜粋してご紹介します。

*目の不自由さを理由にいじめられても、負けん気の強さと親に心配させまいとの思いでいじめに立ち向かってきた。いじめで自殺する悲しいニュースを聴く。もしいじめられたら、いじめっ子の家の窓ガラスでも割ってやれ!騒いでアピールしていじめっ子を困らせてやれ!ガラス代など、子の命に比べたらタダみたいなもんじゃないですか。

*400人に1人が障がい者。自分がそれを引き受けたから399人の目玉を守ったと言える。障がい者が皆さんの身代わりになったから、皆さんには元気な身体が回ってきたのです。

*子どもには「ありがとう」の経験をたくさんさせてやろうではありませんか。立派な人とゆうのは周囲の人に喜びや幸せをあげられる人のことです。



「和太鼓」
岡山県立高松農業高等学校 郷土芸能部
迫力満点の最上太鼓にくぎづけ!



「バトントワリング」
就実高等学校 バトン部
心が一つとなった演技に魅了



「okayama minami milky harmony」
岡山県立岡山南高等学校 吹奏楽部
総勢112名の部員。パフォーマンスに会場一体になりました。



<研究協議>各校の紹介、活動の取組みを発表されました

- ☆「子どもの背を押す育友会」鳥取県立倉吉東高等学校
- ☆「忍の一字で見守るPTA」広島県立松永高等学校
- ☆「保護者・生徒・地域が協力した社会貢献活動」岡山県立岡山工業高等学校



<後記>

竹内先生が紹介されたある障害児の母が歌った短歌

「母なれば百年生きて弱き子の添え木となりて共に朽ちたし」が心に響きました。この親の思い、しっかりと心に刻み、自らもですが、周囲に心遣いできる子育てをしていきたいと思いました。

(武田裕香)